

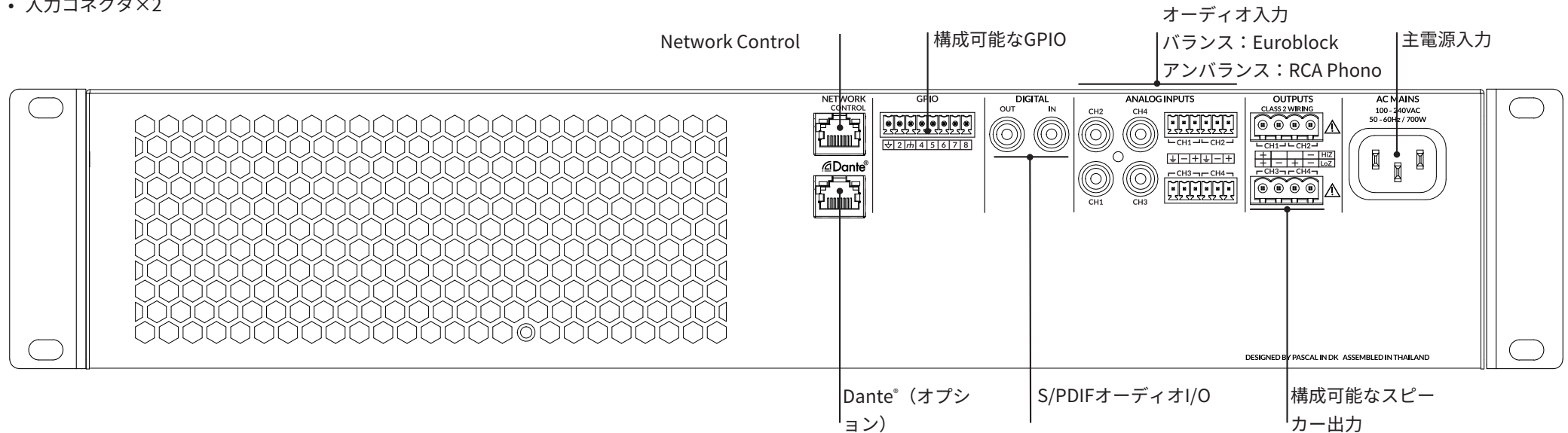
PowerZone™ Connect 1002 • 1502 • 2004/2004D • 3004/3004D

箱の内容

- アンプユニット
- ラックマウントイヤー（装着済み）×2
- 主電源ケーブル
- 入力コネクタ×2
- 出力コネクタ×1または2
- 粘着ゴム足×4
- ドキュメントパック
- GPIOソケットコネクタ

設置、取り付けアクセサリ、およびアンプの操作に関する情報を含む完全なユーザーマニュアルは、オンラインで入手できます。

接続ソケット



設置に関する注意事項

- PowerZone™ Control Web Appを使用して、出力チャンネルごとに高インピーダンスまたは低インピーダンスのスピーカー接続オプションを個別に選択できます。
- アナログ入力感度は、PowerZone™ Control Web Appを使用して、チャンネルごとに個別に調整できます。
- S/PDIFデジタルオーディオI/Oルーティングは、PowerZone™ Control Web Appを使用して構成できます。
- GPIO（汎用入出力）オプションは、PowerZone™ Control Web Appを使用して構成できます。
- オプションのAudinate Dante®インターフェイスにより、Audio over IP (AoIP) ネットワークおよび設備と統合できます。
- ラックまたはその他の密閉された設置によって、機器の安全で信頼性の高い動作に必要な空気の流れが制限されないようにしてください。機器の最大動作温度である40°Cを超えないようにすることが重要です。

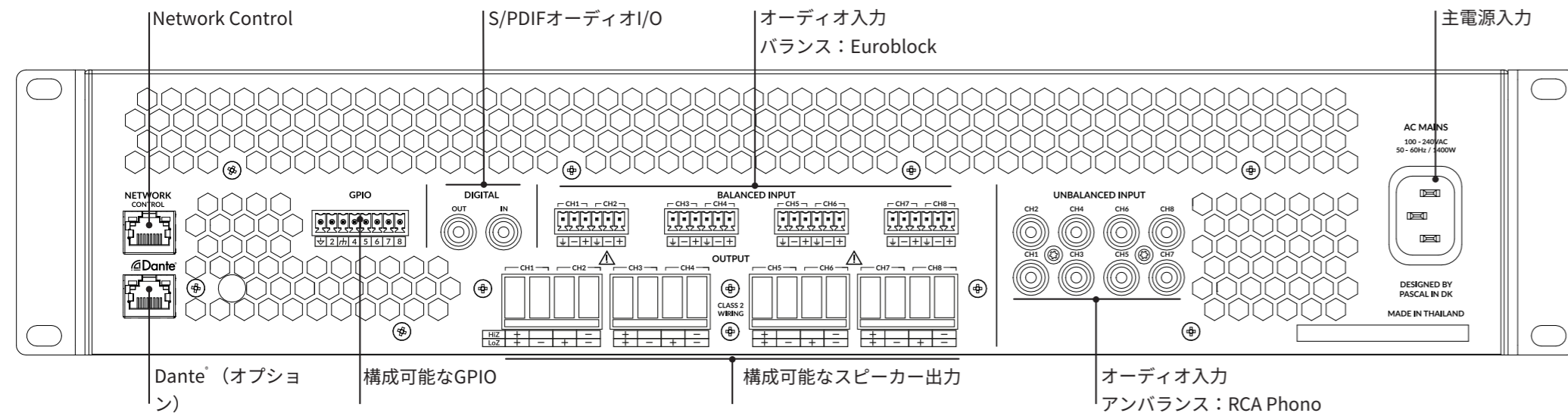
PowerZone™ Connect 4008/4008D • 6008/6008D

箱の内容

- アンプユニット
- ラックマウントイヤー（装着済み）×2
- 主電源ケーブル
- 入力コネクタ×2
- 出力コネクタ×1または2
- 粘着ゴム足×4
- ドキュメントパック
- GPIOソケットコネクタ
- リアサポートブラケット

設置、取り付けアクセサリ、およびアンプの操作に関する情報を含む完全なユーザーマニュアルは、オンラインで入手できます。

接続ソケット



設置に関する注意事項

- PowerZone™ Control Web Appを使用して、出力チャンネルごとに高インピーダンスまたは低インピーダンスのスピーカー接続オプションを個別に選択できます。
- アナログ入力感度は、PowerZone™ Control Web Appを使用して、チャンネルごとに個別に調整できます。
- S/PDIFデジタルオーディオI/Oルーティングは、PowerZone™ Control Web Appを使用して構成できます。
- GPIO（汎用入出力）オプションは、PowerZone™ Control Web Appを使用して構成できます。
- オプションのAudinate Dante®インターフェイスにより、Audio over IP (AoIP) ネットワークおよび設備と統合できます。
- ラックまたはその他の密閉された設置によって、機器の安全で信頼性の高い動作に必要な空気の流れが制限されないようにしてください。機器の最大動作温度である40°Cを超えないようにすることが重要です。

PowerZone™ Connect 1002 • 1502 • 2004/2004D • 3004/3004D • 4008/4008D • 6008/6008D

無線Network Control接続

WiFi機能とウェブブラウザを備えたモバイル、ラップトップ、またはデスクトップデバイスが必要です。

1. 付属の電源ケーブルを使用してPowerZone™ Connectアンプを主電源に接続し、フロントパネルのWiFiインジケータが緑色に点灯するまで待ちます。
2. モバイル、ラップトップ、またはデスクトップデバイスを使用して、利用可能なWiFiネットワークを検索します。パスワード「password」を使用して、「PowerZone™ Connect（製品シリアル番号）」に接続します。アンプのシリアル番号は背面パネルに記載されています。
3. モバイル、ラップトップ、またはデスクトップデバイスのウェブブラウザを開き、次のIPアドレスを入力します。192.168.4.1。ブラウザアプリでアンプ構成ウェブインターフェイスページが開き、必要に応じてアンプ構成を有効にできます。

最初のワイヤレス接続の後に、PowerZone™ ConnectアンプのWiFiパスワードを変更することを強くお勧めします。

有線Network Control接続

Ethernet機能とウェブブラウザを備えたラップトップまたはデスクトップデバイスが必要です。

1. PowerZone™ ConnectアンプのNetwork Controlソケットを、ラップトップまたはデスクトップデバイスに直接接続するか、スイッチを介して接続します。
2. 付属の電源ケーブルを使用してPowerZone™ Connectアンプを主電源に接続し、アンプがネットワークに接続されていることを示す、前面パネルのNetworkインジケータが緑色に点灯するまで待ちます。
3. アンプのデフォルトのLAN IPアドレスは192.168.64.100です。ラップトップまたはデスクトップデバイスを、同じIP範囲内の固定IPアドレス、例えば、192.168.64.10、サブネットマスク255.255.255.0（またはプレフィックス24）に構成し、ゲートウェイを192.168.64.1に構成します。
4. ラップトップまたはデスクトップデバイスのウェブブラウザを開き、アドレスhttp://192.168.64.100を入力します。アンプ構成ウェブページインターフェイスが開き、必要に応じてアンプ構成を有効にできます。

最初のネットワーク接続後にアンプのWiFiパスワードを変更することを強くお勧めします。

サポート

- 設置、取り付けアクセサリ、およびアンプの操作に関する情報を含む完全なユーザーマニュアルは、オンラインで入手できます。www.blaze-audio.comにアクセスするか、QRコードをスキャンしてください。



この記号は、製品の筐体内に、人に感電の危険をもたらす可能性のある、絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザー様に警告することを目的としています。



注意

感電の危険
開かないでください



この記号は、機器に付属の文書に、重要な操作およびメンテナンス（修理）の指示があることをユーザー様に警告することを目的としています。

本機器はアースする必要があります

重要な安全上の注意事項

- これらの指示をお読みください。
- これらの指示を守ってください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。
- この機器を水の近くで使用しないでください。
- 乾いた布でのみ拭いてください。
- 換気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って取り付けてください。
- ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、またはその他の熱を発生する装置（アンブを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
- 感電のリスクを軽減するために、電源コードは、保護接地接続のある主電源コンセントに接続する必要があります。
- 極性または接地タイプのプラグの安全目的を無効にしないでください。極性プラグには2つのブレードがあり、一方のブレードの幅が他方よりも広くなっています。接地タイプのプラグには、2つのブレードと3つ目の接地ピンがあります。幅広のブレードまたは3つ目の接地ピンは、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、古いコンセントの交換について電気技師にご相談ください。
- 電源コードが、特にプラグ、コンセント、および機器から出ている部分が踏まれたり、挟まれたりしないように保護してください。
- コードを引っ張って本体のプラグを抜かずに、プラグを持って抜いてください。
- 雷雨の間、または長期間使用しない場合は、この機器のプラグを抜いてください。
- 修理はすべて、資格のある修理担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷した場合、機器に液体がこぼれた場合や物が落ちた場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、落とした場合など、機器が何らかの形で損傷した場合は、修理が必要です。
- アプライアンスカプラー（電気器具結合器）またはAC主電源プラグは、AC主電源切断装置であり、設置後もすぐに利用できる状態にしておく必要があります。



クラス2配線

スピーカー端子に高電圧が露出しています。絶縁されていない端子や配線に触れると、不快な感覚を感じることがあります。

FCCコンプライアンス

本機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従います。

- 本機器は、有害な干渉を引き起こすことはありません。
 - 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。
- 注意：本機器は、FCC規則のパート15に従ってテストされ、クラスBデジタル機器の制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して、合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを発生させ、放射することがあります。指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合（本機器の電源のオン/オフによって確認できます）、ユーザー様は次の1つまたは複数の対策を実行して干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変えます。
- 本機器と受信機間の距離を広げてください。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。